

グリアアセンブリによる脳機能発現の制御と病態

シンポジウム企画情報

2013-2014 年度

1. 池中一裕、尾崎紀夫、吉良潤一 精神神経疾患研究の現状と展望：新学術5領域の相互理解・連携を目指して（5領域合同シンポジウム） 包括型脳科学研究推進支援ネットワーク冬のシンポジウム、2014年12月11日、東京
2. 小泉修一、平山友里、繁富英治、アストロサイトアセンブリの新規解析法の開発と新機能（シンポジウム）、第57回日本神経化学学会大会・第36回日本生物学的精神医学会合同大会、2014年9月29日～10月1日、奈良
3. 伊藤啓、栗崎健 もう一つのグリアアセンブリ：ショウジョウバエのグリア細胞種と機能分類（シンポジウム） 第57回日本神経化学学会大会・第36回日本生物学的精神医学会合同大会、2014年9月29日～10月1日、奈良
4. 松井 広 光操作研究会 in 東北大学2014 2014年8月18日～8月25日、仙台
5. 小泉修一（演者&オーガナイザー）、Ischemic tolerance mediated by the glia purinergic system.（シンポジウム）Purine2014, 2014年7月24日、Bonn（ドイツ）
6. 竹林浩秀、植木孝俊 グリア細胞研究の最前線（シンポジウム） 119回日本解剖学会総会・全国学術集会、2014年3月27日～29日、宇都宮
7. 高坂新一 グリアの機能形態学 第36回日本神経科学大会・第56回日本神経化学学会大会、2013年6月21日、京都